

## 市民説明会の概要

- (1) 開催日時 【1回目】令和4年1月12日（水）午後6時30分～ 【2回目】令和4年度1月15日（土）午後2時～  
 (2) 開催場所 ふじみ衛生組合 3階研修ホール  
 (3) 参加者数 【1回目】 8人 【2回目】 2人  
 (4) ご意見 5件

No.	ご意見の概要	組合回答の概要
1	具体的な施設規模、高さ等を知りたい。	建築面積は、メーカー側の提案にもよるが4,800㎡程度、60m×80m程度の大きさになるのではないかと想定しています。 建設地は、25mの高さ制限がありますが、制限の範囲内で建築可能であると想定しています。 なお、ごみを溜めるピット方式を検討しており、地下についても活用することを想定しています。
2	新施設の工事期間（3年間）、ペットボトル及びプラスチックを焼却した場合の環境負荷が知りたい。	リサイクルセンター整備基本計画（案）の12ページにあるとおり、CO2の排出量が1年当たり約17,000t増加すると想定しています。 なお、工事期間中の増加分については、新施設においてリサイクル率の向上が見込まれることから、施設稼働後、7年間で回収が可能と想定しています。
3	新施設の工事期間中、ペットボトル及びプラスチックを焼却処理するのではなく、資源化できるようにリサイクル業者に引き渡すことはできないのか？	リサイクルをする場合、都内の施設には処理余力がなく、他県のリサイクル施設に運ぶ必要が生じます。その場合、現状の3倍程度の輸送車両・人手が必要となる他、工事期間中のみの実施という限定的な対応は現実的に厳しいと考えています。 また、保管積替についてもプラスチック・ペットボトルが非常にかさ張ることで、多額の保管・運搬費用が必要となることから、工事期間中に限り、焼却処理にてサーマルリサイクルしたいと考えております。
4	新施設完成後にプラスチックの収集方法に変更が生じるか知りたい。	三鷹市及び調布市でのプラスチックの収集方法に相違があり、今後、製品プラスチックをリサイクルする場合、収集方法の変更が生じる可能性があると考えられます。
5	大規模災害時の電力バックアップについて、しっかり対応していただきたい。	発電施設を有するクリーンプラザふじみ（焼却施設）では、震度5強以上の際は焼却施設を停止し、安全点検を行う必要があります。 しかし、クリーンプラザふじみに設置している非常用発電機では、焼却施設を安全に停止する能力しかなく、停電時には再稼働が出来ない課題があります。 今後、リサイクルセンターの更新に合わせて、焼却施設の立上げに必要な電力をカバーできる非常用発電やガス発電を付け加えるか検討していきたいと考えております。